科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：甲殻類学入門 ILAS Seminar :Introduction to carcinology			担当者所属 職名・氏名	ﾌｨｰﾙﾄﾞ科学教育研究ｾﾝﾀｰ 教授　下村　通誉		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ｾﾞﾐﾅｰﾙ（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期集中	受講定員 (1回生定員)	5 (5) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	瀬戸臨海実験所			使用言語	日本語
キーワード	多様性生物学および分類学関連 / 形態学 / 生態学 / 甲殻類						

[授業の概要・目的]

甲殻類は世界から67,000種が知られている節足動物門で2番目に大きなグループである。1番大きなグループである昆虫は主に陸上で栄えているが、甲殻類は主に川や海などの水圏で繁栄している。甲殻類には大型のエビ・カニ・ヤドカリ類以外にも多くの小型の種を含んでおり、それらの形態や生活様式は様々である。

　本ILASセミナーでは主にフィールド調査と形態観察を行い、甲殻類の多様性を学ぶことを目的とする。

[到達目標]

・甲殻類の機能的な形態と適応的進化について理解する。
・フィールド調査の基本を学ぶ。
・課題に対して自主的、継続的に取り組む能力を養う。

[授業計画と内容]

4月中旬に農学部総合館でオリエンテーションを行う。

実習は5月3日（土）～5月5日（月）（予定）の日程で、和歌山県西牟婁郡白浜町にある京都大学瀬戸臨海実験所にて行う。

実験所周辺の干潟、砂浜、岩礁海岸で甲殻類の採集調査とフィールド観察を行い、形態と生活様式の多様性について学ぶ。また、プランクトン採集によって小型甲殻類を採集し、カイアシ類や十脚類の幼生の形態や生活史について理解する。

実習期間中にレポート課題を提示し、実習終了時にレポートを提出する。

実習の詳細については初回オリエンテーション時に受講者と調整を行う。

高速バス利用の場合、大阪―白浜往復で約7,000円（京都発はございません）、またはJR利用の場合、京都駅―白浜駅往復で約15,000円の交通費がかかります。

[履修要件]

特になし

ILASセミナー ：甲殻類学入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：甲殻類学入門(2)

[成績評価の方法・観点]

実習への積極的な参加（50点）、レポート（50点）により評価する。

レポートは調べた情報の羅列ではなく、自分で考えた内容を高く評価する。

[教科書]

甲殻類の同定に必要な図鑑等はこちらで準備します。甲殻類の体制（ボディプラン）を理解するためのプリントを配布します。

[参考書等]

（参考書）
石川良輔（編）『節足動物の多様性と系統』（裳華房）ISBN:978-4785358297

[授業外学修（予習・復習）等]

オリエンテーション時に、実習までに予習すべきことを指示します。

[その他（オフィスアワー等）]

・学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険へ必ず加入してください。
・交通費・食費は受講生負担となります。
・宿泊は瀬戸臨海実験所の宿泊棟を利用します。シーツのクリーニング代として900円を徴収します。
・実習中、わからないことについては積極的な質問を期待します。

[主要授業科目（学部・学科名）]